

授業概要

はじめて心理学を専門的に学ぶ学生の入門として、心理学概論 I では、心理学の歴史・知覚・認知・学習・神経生理・発達・臨床にわたる、心理学のごく基本的な領域について、広く概説を講義する。自己を理解し、他者や社会を理解するために、科学としての心理学的な観点から、心理学の基礎的な知識の習得を目指し授業をすすめる。なお、本授業は心理学科の必修、卒業に必須の科目である。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション, 心理学の歴史と心理学の研究法
第 2 回	感覚・知覚・認知① 視覚
第 3 回	感覚・知覚・認知② 聴覚・嗅覚・その他
第 4 回	学習
第 5 回	欲求と動機づけ
第 6 回	記憶① ワーキングメモリ
第 7 回	記憶② 長期記憶
第 8 回	知能 知能検査の種類
第 9 回	神経生理 脳と神経
第 10 回	高次脳機能障害
第 11 回	臨床心理, 適応の問題
第 12 回	非言語的コミュニケーション, 対人距離
第 13 回	発達① 生涯発達
第 14 回	発達② 認知の発達
第 15 回	発達③ 情動の発達
第 16 回	試験の実施

到達目標

- ・人間行動について、科学としての心理学の視点から基礎知識が理解できる。
- ・さまざまな領域の心理学を学び、自己理解、他者と社会への理解の方法について知ることができる。

履修上の注意

スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などはマナーモードにし、鞆の中にしまっておくこと。講義の最後に、受講していれば必ずわかる必須問題についての小テストを行う。

予習・復習

授業に必要な資料は授業前日までに Teams に掲載しておくので、資料をよく読んで予習をしておく。講義内で行われた小テストの復習をおこない、授業内容を理解し覚える。

評価方法

定期試験 50%、受講態度 20%、講義内での小テスト 30%にて総合的に評価する。

テキスト

テキストは特に指定しないが、以下の文献を参考文献とする。
また、必要な資料は適宜、授業内に紹介・配布する。

- ・参考書：対話で学ぶ心理学
- ・著者名：塩見邦男
- ・出版社名：ナカニシヤ出版
- ・出版年 (ISBN)：978-4-7795-0193-7 教科書名：